大和川下流流域下水道

今池水みらいセンター

包括管理事業

技術提案書作成要領

令和３年４月

大 阪 府

目　次

[1. 作成する技術提案書等 1](#_Toc62831343)

[2. 技術提案書等の作成等 1](#_Toc62831344)

[2.1. 技術提案書の作成 1](#_Toc62831345)

[2.2. 技術評価資料作成にあたっての注意点 1](#_Toc62831346)

[2.3. 技術提案書添付資料の作成 2](#_Toc62831347)

[2.4. その他共通事項 3](#_Toc62831348)

[3. 技術提案書に係る技術ヒアリング 3](#_Toc62831349)

[4. 技術評価等に関する事項 3](#_Toc62831350)

本件入札は、総合評価一般競争入札制度により落札候補者を決定するため、入札参加者は入札書とともに本事業に関する技術提案書及び技術提案書添付資料（以下「技術提案書等」という。）を提出しなければならない。

なお、技術提案書等は、以下の点に留意し作成すること。

# 作成する技術提案書等

　提出する資料は以下のとおりである。

### 技術提案書

　　　ア　技術提案書表紙（様式4-1）

　　　イ　技術提案様式（様式4-2-1～様式4-2-12）

### 技術提案書添付資料

　　　ア　技術提案書添付資料表紙（様式4-3）

イ　技術提案書添付資料様式（様式4-4-1～様式4-4-6）

　　　ウ　その他根拠資料

# 技術提案書等の作成等

## 技術提案書の作成

### 本事業を落札し契約を締結する場合、事業の実施において技術提案書にて記載した事項の　　うち、評価された内容について履行責務が発生する。従って、このことを認識した上で、技術提案書を作成すること。

### 技術提案書については、指定様式（様式4-2-1～様式4-2-12）を用いて作成すること。

### 技術提案書については、各様式の指定枚数を超える部分については無効とする。

### 技術提案書（正本）については、技術提案様式（様式4-2-1～様式4-2-12）を１冊にファイリングしたものとし、鏡に技術提案書（正本）表紙（様式4-1-1）を添付し、単体企業で入札参加する場合はその企業名、複数企業で入札参加する場合はグループ名を記入するとともに、入札参加者の「所在地・商号又は名称・代表者名」を記入すること。また、入札参加資格確認書に記載された「参加者番号」を記載すること。なお、「所在地・商号又は名称・代表者名」について記入漏れがある場合は、入札説明書に定めるところにより、当該技術提案書を無効とし、技術提案書の提出がなかったものとする。

### 副本については、正本と同一内容のものに、入札参加者を特定できないようマスキング等の処置を施して１冊にファイリングしたものとし、鏡に技術提案書（副本）表紙（様式4-1-2）を添付し、入札参加資格確認書に記載された「参加者番号」を記載すること。

## 技術評価資料作成にあたっての注意点

### 「評価のポイント」の趣旨、求めるものを理解して、以下の視点を考慮し、分かりやすく簡潔に記載すること。

◆視点◆

・求められている内容は何か。

・求められている内容に対してどのように（操作・対応・提案）するか。

・（操作・対応・提案）することでどのような効果や結果があるか。

### 評価にあたっては「評価のポイント」に基づいて有効な提案かどうかで採点する。

また、記載内容が明らかに間違っている場合や、仕様書に記載されている作業内容と同等の内容の場合は採点しない。

下記に評価できない具体的事例を記載するので参考とすること。

〈提出された提案内容〉

『運転データを元に適切に操作をすることで良好な結果が得られます。』

〈評価できない理由〉

　　①：どのデータによる検討・検証なのか分からない。

　　②：「適切に」について、どのように適切なのか分からない。

　　③：「操作」について、どのような操作を行うのか分からない。

　　④：「良好な結果」について、どう良好な結果なのか分からない。

### 「評価のポイント」以外に有効な提案があれば、入札参加者の裁量により記載すること。

## 技術提案書添付資料の作成

### 技術提案書において、実績や根拠等の提示が必要な項目について、指定様式（様式4-4-1～様式4-4-6）を用いて作成し、技術提案書添付資料として提出すること。

### 技術資料などその他必要となる添付書類は技術提案書添付資料の最後にまとめて添付すること。その際、全ての添付書類右上隅に、該当する評価項目番号を記載すること。なお、複数の評価項目に共通する場合は複数の番号を記載すること。

　　【2-1】

【2-2】

【項目番号記載イメージ】

（評価項目番号2-1，2-2に対する添付書類の場合の記載例）

### 技術提案書添付資料（正本）については、技術提案書とは別冊でファイリングし、表紙（様式4-3-1）を添付し、技術提案書（正本）表紙と同一の企業名又はグループ名を記入するとともに、入札参加者の「所在地・商号又は名称・代表者名」を記入すること。また、「参加者番号」を記載すること。なお、「所在地・商号又は名称・代表者名」について記入漏れがある場合は、当該技術提案書添付資料を無効とし、技術提案書添付資料の提出がなかったものとする。

### 副本については、正本と同一内容のものに、入札参加者を特定できないようマスキング等の処置を施して1冊にファイリングしたものとし、鏡に技術提案書添付資料（副本）表紙（様式4-3-2）を添付し、「参加者番号」を記載すること。

## その他共通事項

### 技術提案書及び技術提案書添付資料は、書面により正本１部、副本２部提出すること。電子媒体での提出は認めない。

### 技術提案書の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担とする。

### 技術提案書は、入札参加者自ら作成すること。違反事実が判明した場合は、入札説明書に定めるところにより、提出された書類を無効とし、技術提案書の提出がなかったものとする。

### 入札参加者は、自ら作成した技術提案書の記載内容について、他の入札参加者に知られることのないようにしなければならない。これに違反し、当該技術提案書の記載内容が他の入札参加者の提出した技術提案書に記載されていることが明らかになった場合、入札説明書に定めるところにより、当該技術提案書を無効とし、技術提案書の提出がなかったものとする。

### 技術提案書の提出日（配達日）、提出方法、質問及び回答は、入札公告及び入札説明書による。

### 技術提案書等について、提出後の提案内容の変更は認めないものとする。

### 技術提案書等の返却については、落札者決定後、受取り希望者に対して電話又は電子メールで受取り日を通知する。受取り時には技術提案書の受取書（様式4-1-3）に所定の事項を記入して持参すること。なお、受取り指定日を過ぎた場合、技術提案書等は廃棄処分する。

# 技術提案書に係る技術ヒアリング

　入札参加資格審査を通過した入札参加者から提出された技術提案書について、発注者が必要と判断した場合、ヒアリングを行うことがある。なお、提出された技術提案書についての修正は認めないものとする。

# 技術評価等に関する事項

### 技術提案書に関して、同提案書を審査したうえ、別紙「技術評価にかかる評価項目及び評価基準」（以下、「別紙一覧表」という。）により技術評価点を算定する。

### 各評価項目において、技術評価資料への記載がない場合又は落丁等により提出がない場合（添付資料が整っていない場合を含む。）は、「入札説明書」に定めるところにより、当該評価項目に関する技術点を０点とする。